

防災

早急に地域防災計画の見直し強化を

すで見直し済み

**問** 2016年の熊本地震、昨年7月九州北部豪雨、全国各地で地震や豪雨災害、火山活動などで災害が発生しています。災害対策基本法第1条では「国、地方公共団体及びその他の公共機関を通じて必要な体制を確立し、責任の所在を明確にする」としています。柏屋医師会は九州北部豪雨を受け策定した大規模自然災害

**答** 満行総務課理事 時の地域救護計画で古賀市糟屋地区7町との協定締結をめぐっています。早急に町長は地域防災計画の見直し強化を進めるべきです。

**答** 満行総務課理事 地域防災計画は、昨年3月に大幅な見直しを行い、全編600ページに亘り改定したばかりです。国・県の方針や計画の見直しが行われた際には、随時見直しを行うよう、昨年9月の全員協議会で説明しました。須恵町地域防災計画の概要版でも、十分詳細な回答が網羅されていると考えています。

制度

県とともに国保運営に 国庫負担を要請すべき

30年度 3400億円投入

**問** 4月から国民健康保険の財政運営が県に移行します。県の標準保険料率で保険料は町が決めますが、県への納付金は「100%完納が原則」としています。厚労省は2018年度、制度改定による保険料が急増しないよう、公費の投入、町が行う「赤字補てん」の法定外繰り入れを原則6年の計画期間としています。県は2020年までとしています。平成29年6月末時点で、国保料が高いため滞納世帯が481世帯、短期証の方は396世帯です。町長は国庫負担を要請すべきです。

**答** 梅野住民課長 須恵町は、この10年間で一般会計から10億円以上を繰入れ、国保会計の赤字補てんを行っています。国は、この「国保制度」を子や孫の代まで持続させるため、国民健康保険法等の改正により、国保への財政支援を拡充し、財政基盤の強化を行いました。

全国で、27年度から約1700億円、30年度から3400億円の公費が投入されます。国庫負担の増額はありがたいことですが、増額になるということは、国保被保険者以外の方の負担を強いることも予想されます。まずは、この3400億円の公費投入の継続を希望したいと考えます。



答弁中の中嶋町長



児玉 求 議員

町政を問う！

一般質問

まちづくり

4期16年の町政の総括と、今後のまちづくりに期待する事は まずは執行部と議会の関係を

**問** 4期16年、本年4月末日の任期満了を機に、後進に道を譲るべく町長退任を表明されました。これまで、町の合併協議や、行財政改革による財政の立て直し、4期目には、独自の「まち・ひと・しごと創生総合戦略」を策定し、地方の人口減少が進む中、地域価値の向上を図られました。行財政策による子育て支援や福

**答** 中嶋町長 祉の充実、インフラの整備により、町は大きく発展し人口も確実に伸びました。しかし、町は常に発展しなければなりません。そこで、町政の総括として4期16年の自己評価と、後進に期待する今後のまちづくりへの想いをお尋ねします。



松山 力弥 議員

**答** 中嶋町長 総括は町民がすること、町長として自分を評価することはできません。ドイツの哲学者ヘーゲルが提唱した概念に「アウフヘーベン」という言葉があります。これは、『そのものを否定するが発展の契機として捉えること』と訳さ

れています。議員は別です。議員は町民の方々から意見を求められれば、あれもしたいこれもしたいでいいわけです。首長になると、あれかこれかを選択しなければいけません。その選択が正しかったかどうかは、議員や町民の皆様方の判断に委ねることになります。

今後のまちづくりに期待する事は、須恵町ほど議会と執行部が良好な関係を築いている市町村はありません。言うべきところはお互いきちんと言い合う、ぜひ、今後ともそれを継続していただきたいと思っています。



アザリア幼稚園



れいんぼ一幼稚園

中嶋町長在任中に建設した主な施設